



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町五丁目 1 番 29 号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



春の訪れ（観音寺市）

目 次

- 1. 本会第 4 回監事会開催／本会第 182 回理事会開催2
- 2. 小菘猫の手クラブが中国四国農政局長表彰優秀賞を受賞3
- 3. 第 18 回 かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト入賞作品紹介4~5
- 4. 「大野原開拓物語り」第九回6
- 5. 土地改良区だより 坂出市鎌田池土地改良区7
- 6. 土地改良区役職員研修会開催／会と催し／通常総会のおしらせ8

第 4 回監事会開催

2 月 6 日、香川県土地改良事業団体連合会 3 階会議室において、平成 30 年度本会第 4 回監事会を開催した。

監事会は、全監事出席のほか本会会長、常務理事の立会のもと中間監査が行われた。

監査の結果、予算執行状況及び財務状況について、いずれも適正に処理されているとの報告があり、全議案とも監事全員の賛同を得て承認された。続いて、平成 31 年度監査の実施計画と平成 31 年度事業計画並びに収支予算が承認された。監査結果は、定款に基づき理事会及び総会にて報告される。



監事会の模様

議案

- (1) 平成 30 年度中間監査実施計画について
- (2) 平成 30 年度予算執行状況及び財務状況報告について
- (3) 平成 30 年度一般会計収支補正予算について
- (4) 平成 31 年度監査の実施計画について
- (5) 平成 31 年度事業計画並びに一般会計及び特別会計収支予算について

第 182 回理事会開催



大山会長より挨拶

2 月 15 日、香川用水記念会館 1 階多目的室において、来賓として香川県農政水産部より国分伸二部長、小山輝己次長、井川一郎農村整備課長の出席のもと、第 182 回理事会を開催した。

冒頭、大山会長から多忙のなか出席していただいたことへの御礼が述べられた後、平成 31 年度の農業農村整備予算確保に対する尽力への感謝、また「闘う土地改良」の推進に向け、引き続き皆様方の協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

続いて、国分部長からの来賓挨拶を頂き、大山会長が議長となり、下表の 12 議案が審議され、いずれも原案どおり承認され閉会した。

議案

- | | |
|----------|-------------------------------------------|
| 第 1 号議案 | 平成 29 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について |
| 第 2 号議案 | 平成 30 年度賦課金の調定について |
| 第 3 号議案 | 平成 30 年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分の承認について |
| 第 4 号議案 | 香川県土地改良事業団体連合会処務規程の一部改正について |
| 第 5 号議案 | 香川県土地改良事業団体連合会職員給与規程の一部改正について |
| 第 6 号議案 | 平成 31 年度賦課金の賦課基準並びに賦課徴収の時期及び方法について |
| 第 7 号議案 | 平成 31 年度役員報酬について |
| 第 8 号議案 | 平成 31 年度事業計画並びに一般会計及び特別会計収支予算について |
| 第 9 号議案 | 一時借入金の借入先及び借入限度額について |
| 第 10 号議案 | 預託金融機関の決定について |
| 第 11 号議案 | 役員改選について |
| 第 12 号議案 | 総会の開催について |

小菘猫の手クラブが中国四国農政局長表彰優秀賞を受賞



永木隆介中国四国農政局多面的機能支払推進室長(中央左)
表彰状を掲げる阿部泰人氏(中央)と活動組織の方々

2月8日、平成30年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰の表彰式が開催された。この表彰は、中国四国農政局管内において、水路や農道等の地域資源の保全管理、農業の有する多面的機能の発揮を促進する活動に取り組んでいる組織を対象に、優良な取組組織に授与されるもので、今年度は、最優秀賞1組織、優秀賞4組織が選ばれた。本県からは、三木町の小菘猫の手クラブが優秀賞を受賞された。

本組織は、平成19年度に周辺5集落により設立、地区内の集落営農組織(山南営農組合)が中心となり、計画的に保全管理を実施している。併せて、施設設計から施工・管理にいたるまで、有資格(技能)者の構成員が直営施工するなど施設の維持管理に対する意識も高い。また、遊休農地等を利用して、生物自体に希少糖を含む植物「ズイナ」を構成員である小菘女性クラブを中心に植栽する等、農村環境保全活動にも積極的に取り組んでいる。地区全体での活動を通じ地域コミュニティの活性化に寄与したことが高く評価され、優秀賞受賞に至った。

小菘猫の手クラブ	
所 在	木田郡三木町
協定面積	24.68ha (田 16.27ha、畑 8.41ha)
組織構成	5集落(農家44戸、非農家1戸) 農業者、営農組合、小菘女性クラブ により構成



ズイナの木



ズイナの植栽

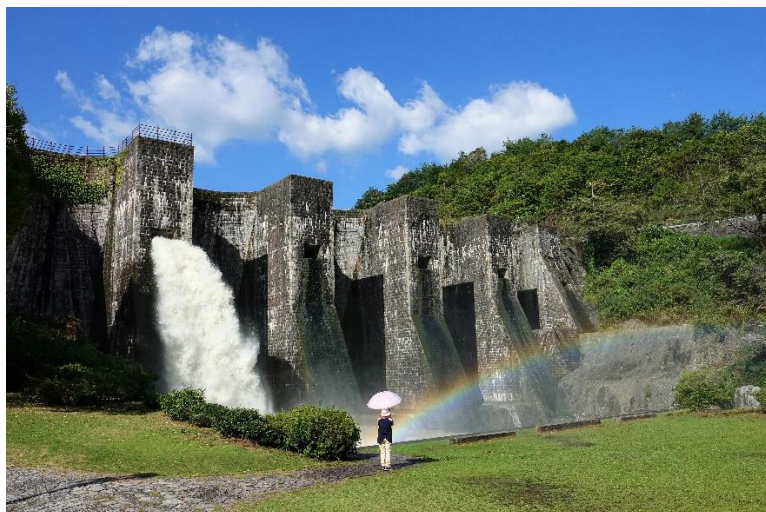
第 18 回 かがわの農村・ふるさと 景観写真コンテスト入賞作品紹介

1 月 25 日、高松商工会議所において、「かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト」の審査会が行われた。このコンテストは、写真を通じて県内の伝統文化や豊かな自然を再発見してもらおうと、香川県が平成 12 年度から実施しているもので、本年度は県内外より 291 点の作品応募があった。審査の結果、最優秀賞には、西山たかしさんの「まつりの日」、香川県土地改良事業団体連合会長賞に白川典雄さんの「豊稔池に虹が出た」、香川県農業協同組合中央会長賞に三井秀範さんの「すくすくと育つ」、かがわグリーン・ツーリズム賞に斉藤延子さんの「肥土山の虫送り」のほか、優秀賞には、久保初美さんの「綾子踊り」、田羅間カトリさんの「ひととき」、水嶋毬子さんの「猫の島」、美濃 透さんの「田園リフレクション」の 4 点、その他入選 5 点、佳作 10 点がそれぞれ選ばれた。

なお、入賞作品は 4 月 22 日から 26 日まで県庁本館 1 階ギャラリーにおいて展示される予定である。

最優秀賞

「まつりの日」 西山たかし
撮影場所：仲多度郡まんのう町



香川県土地改良事業団体連合会長賞

「豊稔池に虹が出た」 白川典雄
撮影場所：観音寺市大野原町

香川県農業協同組合中央会長賞



「すくすくと育つ」三井秀範

かがわグリーン・ツーリズム賞



「肥土山の虫送り」斉藤延子

優秀賞



「綾子踊り」久保初美



「ひととき」田羅間カトリ



「田園リフレクション」美濃 透



「猫の島」水嶋毬子

大野原開拓物語り

おおのほら
かいたくものがたり

第九回 丸亀山崎藩の窮乏

「四国作家」同人 平井 忠志

備中屋簾左衛門は、井関池復旧の嘆願書を出し続けましたが、藩は一向にこれを受け付けませんでした。それどころか、毎年の開墾地の年貢を厳しく催促し続けたのです。その陰には藩の財政窮乏の事情があったのです。

話は寛永十四年（1637）にさかのぼります。この時代、讃岐では西嶋八兵衛が香東川の大改修を行っていました。このとき九州で島原・天草の乱が起きました。天草四郎が率いるキリシタン一揆です。

幕府はこの鎮圧に翻弄され、唐津藩が支配していた天草の富岡城は、一揆のキリシタンに囲まれ危うく落城するところでした。翌年乱を鎮圧した幕府は、島原藩主を切腹させ唐津藩から島原三万八千石を没収しました。

そのあと幕府は、備中（岡山県）成羽三万石の領主、山崎甲斐守家治（後の丸亀城主）に天草領を与え、難攻不落の城を築くよう命じました。山崎藩は幕府から若干の築城費を下賜されたものの、乏しい財政に家臣たちは喘ぎました。

こうして歯を食いしばって富岡城を完成させ、一息入れる間もなく寛永十八年、今度は讃岐西讃五万三千石にお国替えを命じられ、丸亀城に入りました。

栄転とはいえ当時の丸亀城は一国一城令で廃城となり、天守閣もありませんでした。何はさておき丸亀山崎藩は、城の大改築を急がねばならなかったのです。このとき幕府から、築城費として白銀三百貫を下賜されましたが、むろん十分に賄える額ではありませんでした。

山崎藩は再度、窮乏財政に喘ぐことになりました。ちなみに現存する丸亀城の天守閣（国の重要文化財）は、このとき山崎氏が築いたものです。

そんな中で寛永二十年には大干ばつが讃岐を襲い、「秋より冬に至り餓死衢に満つ」（讃岐国大日記）という悲惨な有様でした。

京の豪商平田与一左衛門が山崎藩に願い出て、数百町歩の大野原開墾を始めたのは、この年でした。開墾はむろんのこと、水源の井関池も自前で建設する、いわば町人請負開墾でした。

その見返りとして完成後五年間は諸役年貢を免除して作り取り。次の五年間は年貢を二割に軽減、諸役も免除するという破格の優遇でした。



丸亀城

～土地改良区だより～

坂出市鎌田池土地改良区は、昭和 29 年 7 月 7 日に設立された。鎌田池水系である当地域は、坂出市旧市内の水田、畑地への灌漑及び配水施設の維持管理を行っている。

鎌田池は坂出市街地から南へ約 1 km の位置にあり国道 11 号線沿いに見える桜並木が鎌田池(下池)の堤防であり、その上手に坂出中学校を挟んで貯水池(上池)がある。この池の築造の由来については寛永 3 年にみまわれた未曾有の大干ばつにより生駒家家臣であった西島八兵衛が鎌田池も含む 90 余個の大池を築いたといわれている。

現在では豊かな水を湛えている鎌田池水系も、その昔、用水確保に奔走していた。これは、墾田を命じられ坂出の発展に尽くした久米栄左衛門(通賢)により塩田や田畑の整理が行なわれたものの、開墾に伴う人口の増加による用水不足は加速していった。それを解消するための掛井手(導水路)整備をしたが長続きせず、明治 26 年には夕刻一斉に山頂で焚き火をして雨乞いや氏神で祈祷、白峯寺においては合同請雨祈祷まで執行している。その後、満を持して干ばつの年、明治 27 年の秋には下池の増築工事と池内の浚渫工事に着手、そのおかげで下池の貯水量は従来に比べて 1.5 倍に増加したという。また、昭和 29 年度から 32 年度にかけて団体営ため池等整備事業で堤防及び余水吐を改修し、現在の形になっている。

一方、坂出市の上水道水源として使用されていた上池は、昭和 51 年から府中ダムを水源として市全体に給水可能となり役目を終えたが、付属する浄水場は、市制 40 周年を記念して「かわつ花菖蒲園」として生まれ変わっている。毎年 6 月上旬の花菖蒲祭りには、約 3 万 6 千本の花菖蒲が咲き誇る庭園が一般公開され、多くの市民が訪れ親水空間を楽しんでいる。また、鎌田池の周辺には桜並木の遊歩道が整備されており、今年も目前に迫った桜の開花を人々は今か今かと待ち侘びている。

当地域の今後の課題として、パイプラインの全面改修と鎌田池の配水設備の改修及び水路の整備を考えているが、受益地が農業振興区域外であるに加え、組合員の減少や高齢化が進み、後継者も極めて少なくなっている状況である。しかし、先人から受け継いだ財産を確実に後世に引き継いでいくため、山本理事長はじめ役員一丸となり、今後も更なる発展に努めていきたい。

坂出市鎌田池土地改良区



受益地を望む



鎌田池本堤と桜並木



鎌田池洪水吐とパイプライン取水口



山本 功 理事長

土地改良区の概要

所在地 坂出市駒止町 1 丁目 1-11

受益面積：14ha (田 13.4ha その他 0.6ha)

組合員：117 名

理事：10 名 監事：2 名 職員：1 名



位置図

土地改良区役職員研修会開催



主催者挨拶

2 月 28 日、平成 30 年度土地改良区役職員研修会を香川県社会福祉総合センターにおいて開催した。

この研修会は、土地改良推進事業の一環として、土地改良区の健全な組織運営等を目的に毎年開催している。今年度は平成 31 年 4 月 1 日より施行される改正土地改良法及び土地改良区の資産評価等について、また、農家民泊や人権問題、水土里ネット女性部会についてなど、幅広い内容の研修会であった。土地改良区役職員等 113 名が参加し、熱心に耳を傾けていた。

研 修 科 目	講 師
改正土地改良法について	香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 片岡 義博
土地改良区の資産評価について	香川県土地改良事業団体連合会
農家民泊について	香川県農政水産部農村整備課 課長補佐 井上 一夫
みんなで築こう人権社会～正しく知る 人権感覚を磨く	香川県総務部人権・同和政策課 参 事 宮本 浩
水土里ネット女性部会について	香川県土地改良事業団体連合会

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
2 月 6 日	本会第 4 回監事会	高 松 市
2 月 7 日	第 52 回香川県国土利用計画審議会	高 松 市
2 月 12 日	農業農村整備に関する説明会・意見交換会	高 松 市
2 月 13 日	会計基準等説明会	岡 山 市
2 月 14 日	土地改良事業における財産管理制度活用マニュアル説明会	岡 山 市
2 月 14 日	災害復旧技術向上のための講習会	高 松 市
2 月 14 日	農泊の取組みに係る説明会	高 松 市
2 月 15 日	本会第 182 回理事会	高 松 市
2 月 26 日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東 京 都
2 月 28 日	土地改良区役職員研修会	高 松 市
2 月 28 日	公正採用選考人権啓発推進研修会	高 松 市

通常総会のお知らせ

本会の第 6 1 回通常総会並びに第 5 8 回土地改良功労者表彰式を下記により開催します。

記

日時：平成 31 年 3 月 2 8 日（木） 10 時 00 分

場所：レクザムホール(香川県県民ホール) 多目的大会議室(小ホール棟 5 階)

高松市玉藻町 9-10